

平成31年4月14日（日曜）長崎新聞

ガスや薬使い不安軽減



【問い】 歯に違和感があったため歯医者に行ったら、悪化していたようで、何度も通わないと治らないと言われました。その時に少しだけ治療してもらいましたが、治療に対する恐怖心もあり、口を開けている時間が苦痛で、今後は憂鬱（ゆううつ）になっています。何か良い方法はないでしょうか。（長崎市、49歳女性）

【答え】 歯科治療に不安が強い人の場合、周りの音や振動、診療用の椅子に座ること自体によっても緊張状態になり、治療の妨げとなる場合があります。そのような場合には、精神鎮静法と呼ばれる麻酔法が有効です。

麻酔効果によって、恐怖心や不安感を軽減して治療を行います。口の中への刺激で、えずいてしまう「嘔吐反射」のある人にも効果があります。全身麻酔と違い入院などの必要はありません。一方で、治療時の痛みを取る効果はありませんので、局所麻酔を併用します。

精神鎮静法には、笑気ガ

スを鼻から吸う吸入鎮静法と、血管に鎮静薬を注入する静脈内鎮静法があります。笑気吸入鎮静法は、専用の器具を鼻に付けてガスを吸ってもらいます。治療後に吸入を止めれば、速やかに鎮静状態から回復します。帰宅までの安静時間も短くて済みます。

静脈内鎮静法は、より効果が強いので、笑気で十分な効果が得られない人や、親知らずの抜歯など大がかりな処置に使用されます。

吸入と比べて回復までに時間を要しますので、治療後の安静時間は数時間必要で、当日の運転も控えたほうがよいでしょう。

どちらも全ての歯科医院で対応できるわけではなく、特に静脈内鎮静法に対応可能な医院は限られます。まずは、通院している歯科医院で相談してはいかがでしょうか。

精神鎮静法

回答者 県歯科医師会
医療情報委員会



※日本歯科医師会PR
キャラクター「よ坊さん」と県歯科医師会の
「歯のつなぐ」

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「800200ながさき」で検索できますので参考にしてください。